



山形県
山形こけし



宮城県
鳴子こけし



山形県
天童将棋駒



宮城県
松川だるま

宮城県
堤焼



山形県
山形鑄物





わたしたち〈じもとグループ〉は
お客さまに喜ばれ、信頼され、
「じもと」と共に進化・発展する
新たな金融グループを創設します。

PROFILE (平成29年3月31日現在)

じもとホールディングス

本社所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号

電話番号 022-722-0011(代表)

設立年月日 平成24年10月1日

資本金 170億円

上場取引所 東京証券取引所

ホームページ <https://www.jimoto-hd.co.jp/>





宮城・山形両県に跨ぐ蔵王山を望む

きらやか銀行

本店所在地 山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号 023-631-0001(代表)
設立年月日 平成19年5月7日
資本金 227億円
預金・譲渡性預金 12,957億円
貸出金 10,271億円
従業員数 971人
店舗数 118カ店(県内99カ店、県外18カ店)^(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗
統合による実質店舗数は73カ店(うち出張所1カ店)
(県内56カ店、県外16カ店、その他1カ店)。
ホームページ <https://www.kirayaka.co.jp/>

仙台銀行

本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号 022-225-8241(代表)
設立年月日 昭和26年5月25日
資本金 224億85百万円
預金・譲渡性預金 10,702億円
貸出金 6,725億円
従業員数 677人
店舗数 73カ店^(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式
での店舗統合による実質店舗数は62カ店
(うち出張所4カ店)。
ホームページ <https://www.sendaibank.co.jp/>

中期経営計画最終年度に向けて

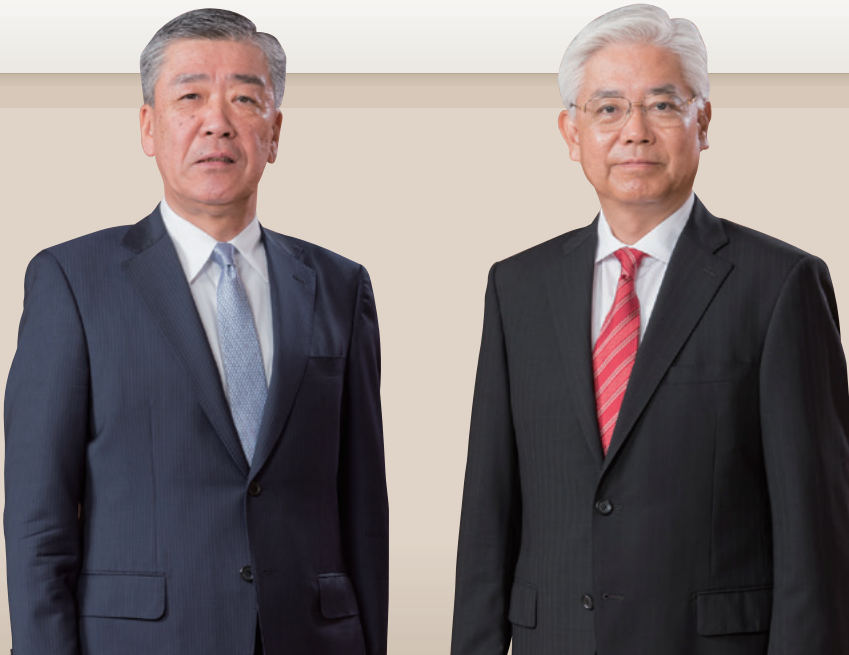
じもとホールディングスは、本年10月に設立5周年となり節目の年を迎えます。宮城と山形の「人・情報・産業」をつなぎ、経済や人びとの交流の活性化を通じて魅力ある地域を創り上げることを使命とし、これまで各種施策に取り組んでまいりました。本年度は平成27年4月にスタートした中期経営計画の最終年度となります。

じもとグループの中期経営計画は、「本気の本業支援」と「本気の統合効果発揮」の2本柱です。

「本気の本業支援」では、宮城と山形をつなぐビジネスマッチングの取り組みや、他機関との連携などによる態勢強化、人材育成・地方創生への取り組み強化を実施しており、今後もさらに、じもとグループの強みを生かした差別化戦略を推し進めてまいります。「本気の統合効果発揮」では、システム統一や業務場所・業務フローの統一が順調に進んでおり、グループの特徴を最大限に活かすべく、今後も経営の効率化・合理化を図ってまいります。

中期経営計画の最終年度として、本年度はこれまでの本業支援を更に進化・発展させるとともに、お客さまと価値感を共有して創造を続ける「持続可能なビジネスモデル」を確立し、お客さま・地域に喜んでいただけるよう、じもとグループが一丸となって取り組んでまいります。

皆様方におかれましては、今後とも、じもとグループに更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社じもとホールディングス会長
株式会社 仙台銀行 頭取

鈴木 隆

株式会社じもとホールディングス社長
株式会社 きらやか銀行 頭取

栗野 学

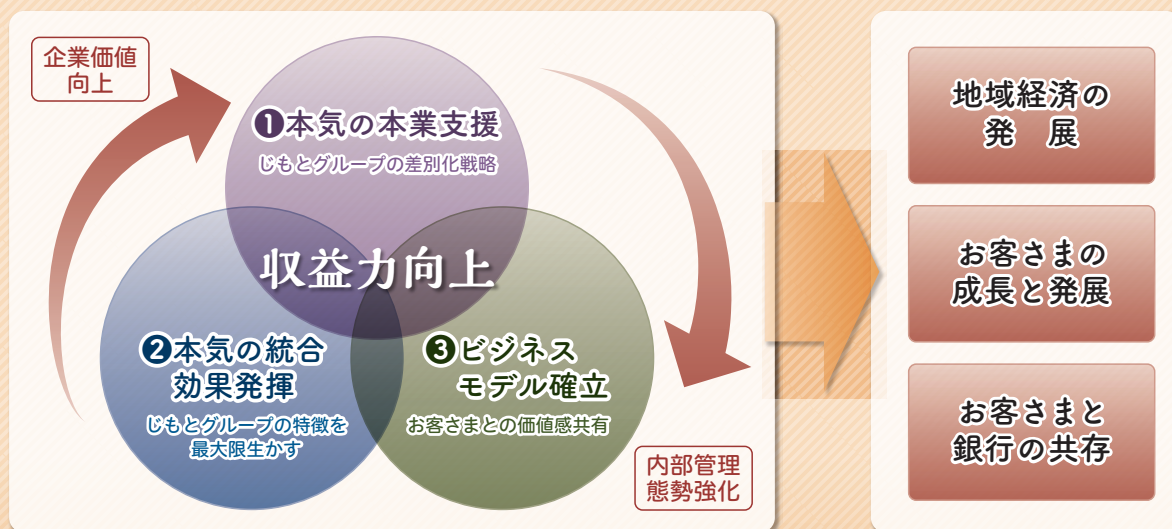
中期経営計画

これまでの取り組み

じもとグループの目指す姿

中期経営計画最終年度(平成29年度)の取り組み

本業支援を柱とし、お客さまと価値観を共有して創造を続ける
「持続可能なビジネスモデル」確立で成果を出す！



本気の本業支援

態勢強化

- 東京TYFGとの連携協定締結
- 産学官連携への取り組み

更なる特徴発揮

- 東北大学・山形大学との連携による経営者育成
- 両行事業性評価シートの統一・活用

宮城と山形をつなぐ

- 両県・両行をつなぐビジネスマッチングの取り組み
- 両行営業店組織会の交流実施

地方創生

- 「宮城×山形×栃木じもといいもん交流フェスティバル」開催
- 地公体との連携イベント多数実施

本気の統合効果発揮

システム統一

- 勘定系システムを27年5月に統一
- サブシステムを30システム統一完了(29年3月現在)
(統合顧客管理、自己査定、証券管理、キャッシュカード発行等)

業務場所・業務フロー統一

- 両行人事制度を29年4月に統一
- きらやか銀行市場金融部が29年5月に仙台銀行本社へ移転
- 29年3月にきらやか銀行新事務センターが稼働、仙台銀行の一部業務を10月に移転集約化予定

“ほしかったもの・やりたかったこと・悩みごと”を
じもとグループ一丸となって支援!!

両行のもつネットワークとじもとホールディングスの
情報データベースを活用することで、
お客さまの様々なニーズに
スピーディーにお応えします!

ビジネス
マッチング

復興支援
地方創生

じもとホールディングスは
広域かつ豊富な情報量で
高度な本業支援を
実施いたします。

専門家活用

事業承継
M&A

ビジネス
マッチング情報
データベース

情報

きらやか
銀行

情報

仙台
銀行

商談
成立

ビジネスマッチングの一例



有限会社 ミヤギ総合ファーム
代表取締役
山崎 健一 様



販路を拡大
したい!

弊社のアイス事業部門Ice Galleryは、「普段コンビニやスーパーでは購入できないこだわりアイスクリームを提供する」をモットーに、全国各地の牧場等で生産された、こだわりのアイスクリームを取り扱っております。自然の風味を生かした素晴らしいアイスクリームをより多くの皆さんに味わっていただきたいとの思いから、仙台銀行ときらやか銀行のネットワークを通じて、株式会社サンエー様を紹介いただき、販路拡大の機会を得ることができました。

今後も、宮城と山形をつなぐ懸け橋として、サポートをお願いできればと思っております。

私たちは、この夏、他にはない美味しいデザートを販売できないかと考えていました。しかし、実現はとても難しいことでした。

そんな時、きらやか銀行から、全国で評判のアイスクリームを販売する会社をご紹介いただいたのです。おかげさまで、念願のこだわりアイスクリームの販売を始めることができました。

きらやか銀行には、企画・卸元であるミヤギ総合ファーム様との面談から販売まで、細やかにご支援をいただきました。いまや本業支援部の皆さまは、売れて、儲かる商品を紹介してくださる最高の社外バイヤーです。本当にありがとうございました。

夏の目玉品
がほしい!



株式会社 サンエー
代表取締役社長
渡邊 康二郎 様



担当者の声



株式会社サンエー様は、山辺町中心部のショッピングプラザ内でスーパーを営まれております。有限会社ミヤギ総合ファーム様のご紹介を通じ、なかなか手に入らない「Ice Gallery日本全国のこだわりアイス」を提供することで、多数のお客さまにご来店いただけたと喜んでいただきました。

じもとと根付く金融機関として、地域の皆さまの笑顔のためにより一層努力していきます。

きらやか銀行 山辺支店 近江 隆洋 次長(融資担当)



有限会社ミヤギ総合ファーム様は、主に畜産業を営んでいましたが、平成27年、長男俊介氏の事業参加を機にアイス販売部門を新たに立ち上げました。

当行では、当初よりじもとグループの持つネットワークを活用し、情報提供などの支援を行ってききました。今後も山崎社長と俊介氏親子の熱い想いをしっかり受け止め、様々な面でサポートしていきたいと考えています。

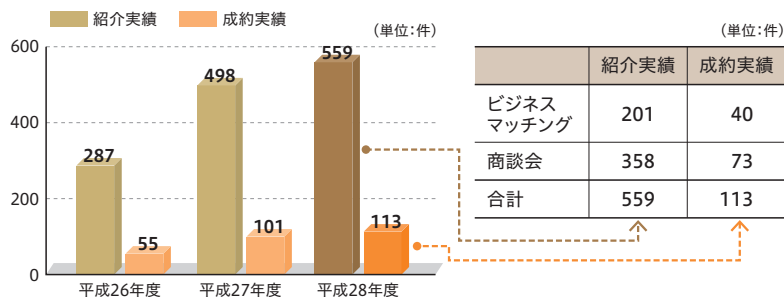
仙台銀行 津山支店 遠藤 洋子 支店長

ビジネスマッチング・商談会の実績

じもとグループは、宮城と山形をつなぐビジネスマッチングに積極的に取り組んでいます。

平成28年度の両行間におけるビジネスマッチングの紹介実績は201件となり、うち40件が成約いたしました。

また、じもとグループが主催・協力した商談会での商談件数は358件となり、うち73件が成約いたしました。



情報ツールの強化

きらやか銀行と仙台銀行は、皆さまとのつながりを深めるために、LINEを開設いたしました。

QRコードを読み取り友だち登録をすると、各行の最新情報を取得できます！

きらやか銀行 / 仙台銀行

LINE@はじめました！



キャンペーン情報やおトクな情報などを
みなさまにお届けします！

きらやか銀行



仙台銀行

《より快適にご利用いただけるよう、ホームページをリニューアルいたしました！》

《じもとホールディングス》



<https://www.jimoto-hd.co.jp/>

《きらやか銀行》



<https://www.kirayaka.co.jp/>

《仙台銀行》



<https://www.sendaibank.co.jp/>

東京TYフィナンシャルグループとの連携協定

「地域の中小企業の皆さまに本業支援を実践する」という『同志』を持つ両金融グループによる連携を図ります。

連携の内容

(1) 本業支援に関する連携・協力

① 事業承継・M&A等の支援業務等に関する事項 ② ビジネスマッチング業務に関する事項

(2) 両グループ内で保有する本業支援に関するノウハウの共有・高度化を図ることを目的とした情報交換会や共同研修の開催及び専門人材の育成・交流



『広域マーケット』における本業支援の実践を通じ、今まで以上に付加価値の高いサービス提供が可能！

じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円、%)

	28年3月期	29年3月期	前年同期比	増減率
連結経常収益	42,522	44,132	1,610	3.7
経常利益	5,283	4,737	△545	△10.3
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,889	4,628	△261	△5.3

平成29年3月期の連結業績は、連結経常収益が441億32百万円、経常利益は47億37百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は46億28百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

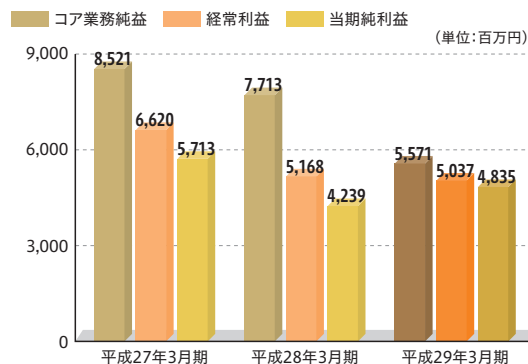
(単位:百万円、%)

	2行合算			
	28年3月期	29年3月期	前年同期比	増減率
経常収益	41,812	38,312	△3,500	△8.3
業務粗利益	32,604	31,184	△1,419	△4.3
経費 (除く臨時処理分)	25,789	25,997	208	0.8
コア業務純益	7,713	5,571	△2,142	△27.7
業務純益	7,630	5,186	△2,443	△32.0
経常利益	5,168	5,037	△131	△2.5
当期純利益	4,239	4,835	595	14.0
貸出金	1,677,897	1,699,754	21,856	1.3
預金等 (譲渡性預金を含む)	2,346,118	2,366,036	19,917	0.8
有価証券	682,674	632,406	△50,268	△7.3

2行合算の経常収益は、前年同期比35億円減少の383億12百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役務取引等利益が減少したことから、前年同期比21億42百万円減少の55億71百万円となりました。

経常利益は、前年同期比1億31百万円減少の50億37百万円、当期純利益は前年同期比5億95百万円増加の48億35百万円となりました。



イメージキャラクターに「ぼんぼんりぼん」を採用！

当行は、より“親しみやすさ”を持っていただくためにイメージキャラクターを採用いたしました。当行の誕生10年目を一緒に盛り上げてくれるのは、幅広い年代層に親しまれているサンリオのキャラクター「ぼんぼんりぼん」です。ぼんぼんりぼんの頭に付いているリボンは、当行シンボルマークの煌き模様を表しています。ぼんぼんりぼんとともに、当行は地域の皆さまからもっと愛される銀行へと成長していきます。

きらやか銀行10周年 “充年十色”計画実施中！

当行は、平成29年5月に誕生10周年を迎えます！

感謝の気持ちをこめまして、「10周年記念定期預金」、「こどもフリーマーケット」、各営業店が独自に考案する「“10”にまつわる地域応援活動」など、様々な記念イベントを実施してまいります。

当行は、これまで以上に皆さまから喜ばれる銀行になるよう取り組んでまいります。

きらやかコンサルティング＆ パートナーズ設立！

当行が推進する「本業支援」のさらなる進化のため、平成29年1月、「きらやかコンサルティング＆パートナーズ株式会社」を設立いたしました。多様化するお客さまの事業ニーズにお応えするため、事業承継対策支援業務、M&A支援等のコンサルティング業務、人材育成支援業務、経営戦略策定支援業務などを展開し、より良い本業支援を提供してまいります。ぜひ、経営に関するお悩みの解決に当社をお役立てください！



Bonbonribbon

© 2012, 2017 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No. G580613

被災地へ新店舗オープン！ ～復興支援のさらなる加速～

女川支店は、東日本大震災の津波で全壊したことから、女川町仮設合同庁舎内に出張所を開設し、営業を続けてまいりましたが、更なる復興支援や地域経済活性化の一助となるため、平成29年4月、女川駅前「おながわ商業エリア」に、女川支店として新築移転オープンいたしました。

当行は引き続き、地域の皆さまの利便性向上と復興支援に努めてまいります。



女川支店

仙台市とネーミングライツ契約を締結！ ～新名称「仙台銀行ホール イズミティ 21」～

当行は、平成29年4月、仙台市が所有する「泉文化創造センター（イズミティ 21）」の施設命名権を取得し、市とネーミングライツ契約を締結、施設新名称は「仙台銀行ホール イズミティ 21」に決定いたしました。

当行は、今後も仙台市と連携しながら、地域の文化活動への支援を通じて、地域経済の活性化にさらに貢献してまいります。



除幕式

農業経営上級アドバイザー試験合格者を輩出！ ～宮城県初の合格者～

当行は、農業分野など専門分野への支援に積極的に取り組んでおります。

今般、日本政策金融公庫が実施する「農業経営上級アドバイザー試験」に、宮城県で初めて、地元企業応援部企画室の佐々木真吾室長代理が合格いたしました。また、平成29年3月には、東北地域の信金・信組職員向けの「農業融資セミナー」において、農業経営上級アドバイザーとして講演を行いました。

当行は今後も、地域経済活性化や地方創生に向け、農業分野など専門分野への支援に取り組んでまいります。

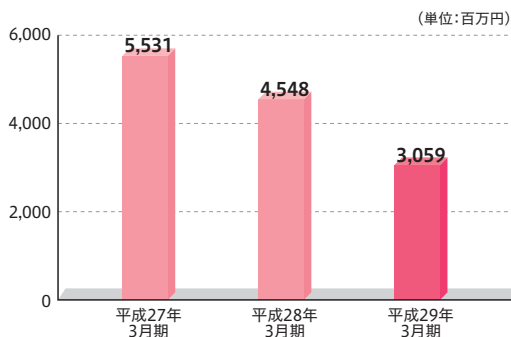


講演風景

業績ハイライト(単体)

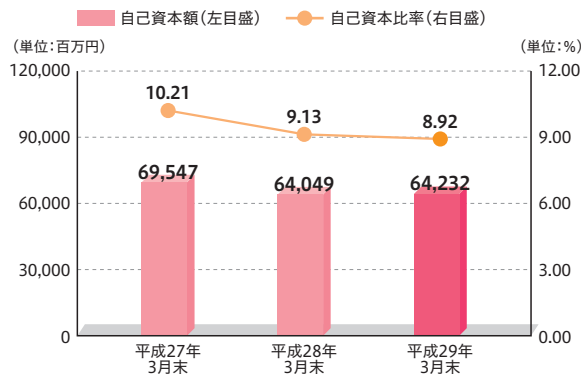
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことなどから、前年同期比14億88百万円減少の30億59百万円(増減率△32.7%)となりました。



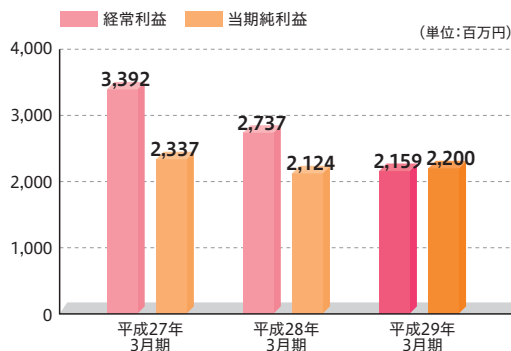
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、当期純利益を22億円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、平成28年3月末比0.21ポイント低下の8.92%となりました。



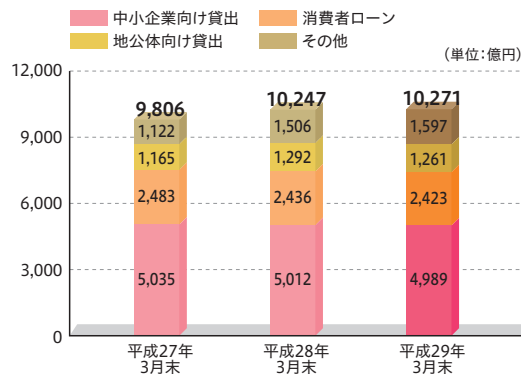
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は前年同期比5億77百万円減少の21億59百万円、当期純利益は前年同期比76百万円増加の22億円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業を含む事業性融資が増加したことなどから、平成28年3月末比24億80百万円増加の1兆271億92百万円となりました。

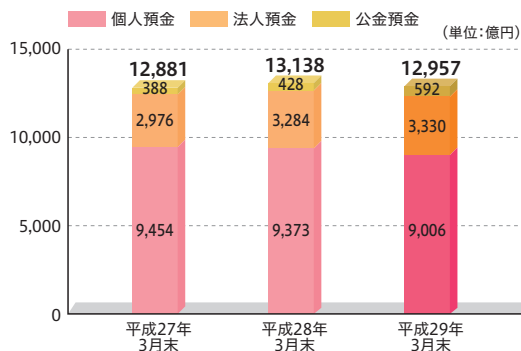


用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

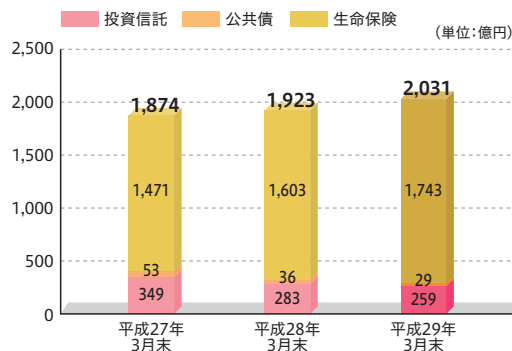
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金は増加したものの個人預金が減少したことから、平成28年3月末比180億52百万円減少の1兆2,957億65百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、安定志向にあるお客さまニーズへの対応により生命保険残高が増加したことなどから、平成28年3月末比108億77百万円増加の2,031億91百万円となりました。

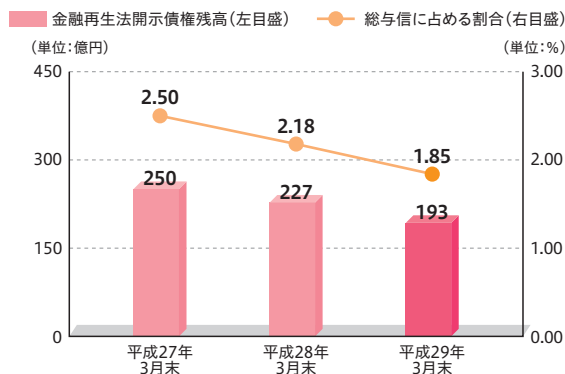


金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成28年3月末比33億72百万円減少の193億47百万円となりました。

総与信額に占める割合は、平成28年3月末比0.33ポイント低下し1.85%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



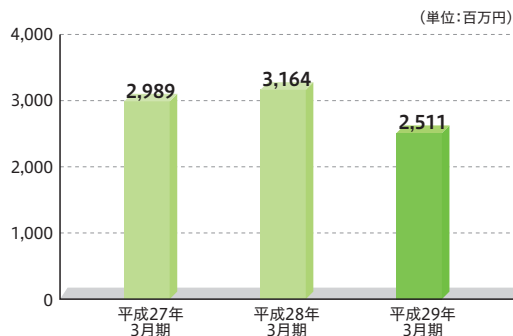
■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト(単体)

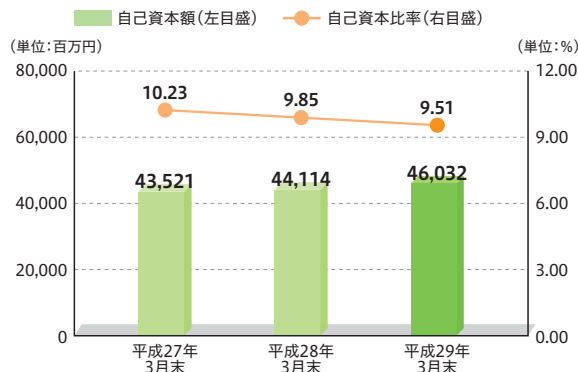
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益の減少に加え、経費の増加などから、前年同期比6億53百万円減少の25億11百万円（増減率△20.6%）となりました。



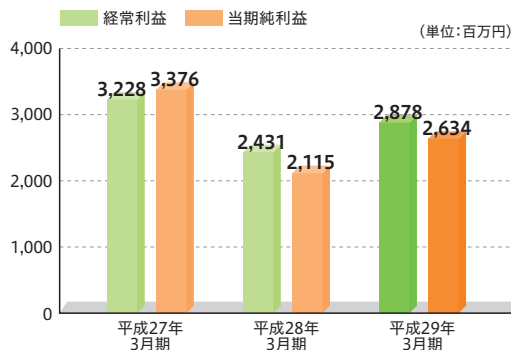
自己資本比率の状況

自己資本比率は、当期純利益を26億34百万円計上したことで自己資本額（分子）が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、平成28年3月末比0.34ポイント低下の9.51%となりました。



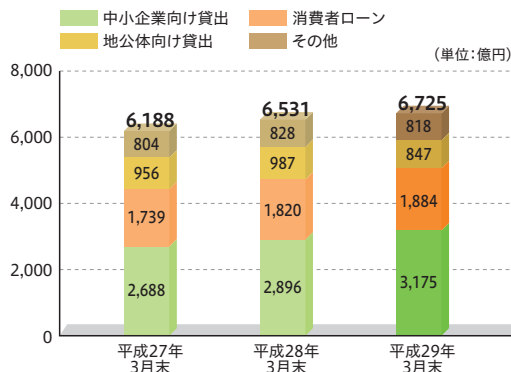
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比4億46百万円増加の28億78百万円、当期純利益は、前年同期比5億19百万円増加の26億34百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、本業支援を通じてお客さまの資金需要へ積極的に対応し、中小企業向け貸出や住宅ローン、個人ローンが増加したことから、平成28年3月末比193億75百万円増加の6,725億62百万円となりました。

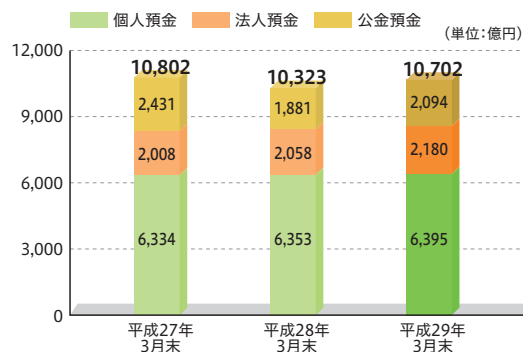


用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

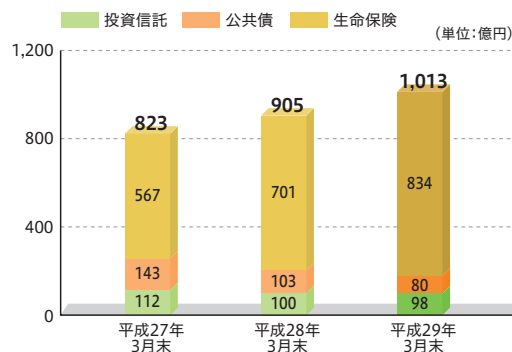
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人・法人・公金預金のすべてが増加し、平成28年3月末比379億70百万円増加の1兆702億円となりました。



預かり資産の状況

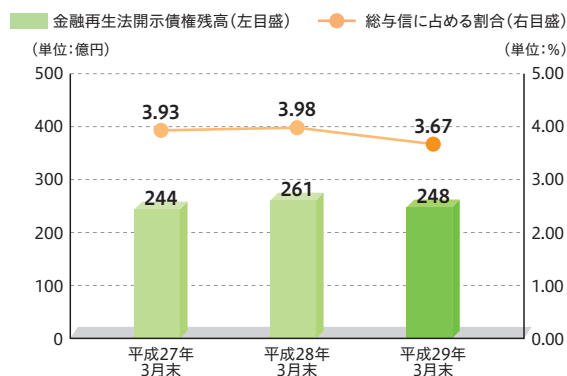
預かり資産残高は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、生命保険残高が増加したことなどから、平成28年3月末比108億3百万円増加の1,013億32百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、リスク管理債権の回収等により、平成28年3月末比13億83百万円減少の248億12百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成28年3月末比0.31ポイント低下の3.67%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会の議決権の基準日については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 [公告掲載ホームページアドレス] https://www.jimoto-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞、仙台市において発行する河北新報および山形市において発行する山形新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でも取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります） （※）トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

お問合せ先

みずほ信託銀行 株式会社

 0120-288-324

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成29年分の確定申告の添付資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成29年分の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

創立5周年記念 株主優待の実施について

じもとホールディングス創立5周年を記念いたしまして、平成29年9月30日現在、1,000株以上の株式を、1年以上継続して保有している株主様を対象に、クオカード、地元宮城・山形の名産品のほか、全国の特産品等の商品を贈呈する、株主優待を実施する予定です。

※平成28年9月までに当社の株式を取得され、平成29年9月時点で当社の株を保有されている方に限ります。

※贈呈の時期は、平成29年12月上旬の予定です。

お問合せ先 株式会社じもとホールディングス 022-722-0011（代表）

平成29年6月発行